

1. はじめに

奈良文化財研究所埋蔵文化財センター 環境考古学研究室では、これまで「自然遺物調査法」、「環境考古学調査法」、「生物環境調査課程」などの環境考古学に関する研修を実施してきた。そして「埋蔵文化財ニュース 環境考古学1～7」各号を通じて、環境考古学や動物考古学の普及を目的とした活動を続けている。

遺跡土壌の選別法として「環境考古学1」を、出土した動物遺存体の同定のための動物骨格図譜として「環境考古学2～7」を刊行した。また、環境考古学に関する研修を体系的にまとめた概説書として『環境考古学マニュアル』(松井編 2003)を、『埋文ニュース』に動物種や図版を増補し、英語による解説を併記した『動物考古学 Fundamentals of Zooarchaeology in Japan』(松井 2008)を刊行した。

このように環境考古学研究室では、これまで多くの現生動物の骨格標本を作製・収集してきた。そして、これらの標本を活用し、動物考古学における多くの研究成果をあげてきた。今回、これらの標本がより広く活用されるように、奈良文化財研究所が所蔵している現生動物の骨格標本の目録を順次刊行することとした。本号では哺乳類を取り上げる。

2. 動物考古学における現生標本の意義

(1) 同定

動物考古学における同定とは、遺跡から出土した動物遺存体（動物の骨、貝殻、歯、角、鱗など）が、既存の動物分類群のどの部位に当たるのかを特定することである。この同定は、動物考古学の最も基礎的な作業であり、現生標本と形態的特徴を比較して行われるものである。この同定の精度を高めるためには、質量ともに優れた現生動物の骨格標本が必要となる。

自然史系博物館、大学、研究所において、現生動物標本を収集・管理しているところもあるが、研究背景や目的が異なるため、動物考古学には必ずしも適した標本であるとは言えない。例えば、魚類は骨格標本ではなく液侵標本として保管される事が一般的で、骨格の観察ができないため、動物考古学における同定には適していない。また、哺乳類は頭蓋骨のみが標本化される事が多い。しかし、遺跡から出土する動物遺存体は、頭蓋骨だけでなく全身の骨が出土す

る。そのため、動物考古学では、遺跡から出土する可能性のある現生動物の全身骨格標本を収集する必要がある。

(2) 現生標本の保管・公開

動物考古学では、現生標本が単なる「研究のための道具」とされ、標本の管理・公開に対する認識が希薄であるとの指摘がある（樋泉 1996）。現生標本は、同定の根拠を示す証拠としての役割を担っており、同定結果の再現性を保証するためには、比較に用いられた現生標本を公開する必要がある。そして、それらの現生標本は、系統的に整理・保管されて、はじめて活用できるようになる。

しかし、今日の国内における現状をみると、教官の異動に伴う研究体制の改廃を主要因として、大学や大学院で多くの資料を長期にわたり継承することが困難となっている（日本学術会議2005）。奈良文化財研究所のような長期的視野に立つ研究機関が、こうした現生骨格標本を継続的に作製・収集・保管・活用・公開していくことが必要となっている。

3. 所蔵哺乳類標本（NACM）の概要

奈良文化財研究所が収蔵する哺乳類標本（NACM）は、2009年2月現在で総数253点、10目28科に及ぶ（表1）。日本に生息する哺乳類10目（靈長目、兎目、食虫目、翼手目、食肉目、奇蹄目、偶蹄目、鯨目、海牛目、齧齒目）では、海牛目を除く9目が含まれており、幅広い種類の標本群であると言える。

NACM標本群の大きな特徴は、頭蓋骨だけでなく、全身骨格標本が充実していることである。また、成獣だけでなく幼獣の標本も数多く所蔵されている。これらの標本は、骨格部位関節面などが観察できるように、分離骨格標本が主体である。また、解剖学的位置を把握するために、交連骨格標本も所蔵している。

NACM標本群は、動物考古学の目的に応じて収集されたものであり、日本の遺跡から出土する哺乳類遺存体を分析するための基礎的な標本群であるといえる。

4. 哺乳類リストの項目

標本番号 複数の機関が所蔵する現生標本を利用して記載される場合には、現生標本を所蔵する機関の略号が必要となる。そのために標本

番号は、「機関略号」 + 「登録番号」で記述した。機関略号は、奈良文化財研究所 (Nara National Research Institute for Cultural Properties) の3文字(NAC)と哺乳綱の英語表記(Mammalia)の頭文字を合わせた、4文字表記(NACM)とする。登録番号は、各個体に一連の番号を付けた。

和名 和名（目名、科名、種名）とは、分類学における日本語の動物名称である。鯨目、海牛目を除いた、日本列島に生息する哺乳類の和名は、阿部監修（2008）に従った。鯨目、海牛目の和名は、T.A.ジェファーソンほか（1999）に従った。

英名 英名（種名）は、分類学における英語の動物名称である。原則として、Wilson, D. E., Reeder, D. M. (2005) に従った。ただし、家畜種に関しては、和名に合わせて、原種名ではなく家畜種名を記載した。

学名 学名とは、国際命名規約に基づいて命名された、特定の生物の分類群を示す名称である。通常はラテン語が用いられる。動物の場合には、「属名」 + 「種小名」の2語から構成される。また、亜種に関しては「亜種小名」が加わり、3語から構成される。なお、登録にあたっては、Wilson, D. E., Reeder, D. M. (2005) に従い、命名者と命名年号は省略した。

性別 雌雄（オス／メス）を記載した。原則として解剖時に判断されたものであるが、犬歯や角の有無など骨格標本でも性別が判断できる場合には、雌雄を記述した。

成長段階 成獣と幼獣を区別して記載した。頭蓋骨あるいは下顎骨のある標本は、歯の萌出が完了した個体を「成獣」、完了していない個体を「幼獣」とした。頭蓋骨あるいは下顎骨のない標本は、主要四肢骨（上腕骨、橈骨、大腿骨、脛骨の近位端と遠位端）の骨端がすべて癒合している個体を「成獣」、癒合していない個体を「幼獣」とした。

保管部位 保管する部位について記載した。また、ロードキル（交通事故死）などにより破損した標本については破損の有無も記載した。

備考 亜種名、品種名、標本の種類（レプリカ標本や交連骨格標本）といった事項について記載した。記載のない標本は、分離骨格標本である。

表1. 奈良文化財研究所所蔵の哺乳類標本

分類群	成長段階	全身	頭部のみ	体部のみ	計
象目					
ゾウ科	幼	1		1	
靈長目					
ニホンザル	成 幼	2 1	2		5
マウンテンゴリラ	成		1		1
ヒト	成	1			1
兔目					
ニホンノウサギ	成	3			3
アナウサギ	成	1	2		3
食虫目					
ジャコウネズミ	成	8			8
コウベモグラ	成	3			3
ビミズ	成	1			1
翼手目					
イエコウモリ	成	4			4
食肉目					
イエネコ	成 幼	3 1	1		5
ライオシ	成		1		1
ハクビシン	幼	1			1
コヨーテ？	成		1		1
オオカミ	成	1	1		2
イヌ	成 成 成	2 7 2	3		5
タヌキ	幼	1			11
?			1		
キツネ	成	4			4
ピグマ	成 成 幼	1 1 28	5 1		6 31
ツキノワグマ					
トド	成	1			1
ゴマラアザラシ	成				1
ゼニガタアザラシ	成	1			1
カワウソ	成	2			2
テン	成	7	5	4	16
アナグマ	成	1			1
イタチ？	成	6		4	10
アスマリカアナグマ？	成				1
アライグマ	成 幼	1 3			4
奇蹄目					
ウマ	成	1	1	1	3
偶蹄目					
イノシシ	成 幼	2 1	12	2	29
ブタ	幼		2	2	4
カバ	幼		1		1
ノロジカ属	成	1			1
ニホンジカ	成 幼	5 5	5	3	28
?			1		
ウシ	成 幼	1 3	1	1	6
ヤギ	成	2			2
カモシカ	成 幼	3 2	5		18
ヒツジ	成	1			1
鯨目					
ハナゴンドウ	?		1		2
スジイルカ	?	1			1
イルカ類	?		1	1	
齧歯目					
ニホンリス	成	4			4
ムササビ	成	1			1
シマリス	成				1
アメリカビーバー	成		1		1
ヒメキヌゲネズミ	成	2			2
キヌゲネズミ	成				1
アカネズミ？	成 幼	1 1			2
ドブネズミ	成	5	1		6
クマネズミ	成	1	1		2
クマネズミ属	成	1			1
モルモット	成		1		1
計		113	119	21	253

標本番号 (NACM)	科名	種名	英名	学名
----------------	----	----	----	----

象目（ゾウ目）

0082	ゾウ科	ゾウ科	Elephant	Elephantidae
------	-----	-----	----------	--------------

靈長目（サル目）

0145	オナガザル科	ニホンザル	Japanese Macaque	<i>Macaca fuscata</i>
0024	オナガザル科	ニホンザル	Japanese Macaque	<i>Macaca fuscata</i>
0099	オナガザル科	ニホンザル	Japanese Macaque	<i>Macaca fuscata</i>
0135	オナガザル科	ニホンザル？	Japanese Macaque ?	<i>Macaca fuscata</i> ?
0172	オナガザル科	ニホンザル	Japanese Macaque	<i>Macaca fuscata</i>
0083	ヒト科	マウンテンゴリラ	Eastern Gorilla	<i>Gorilla beringei</i>
0079	ヒト科	ヒト	Human	<i>Homo sapiens</i>

兔目（ウサギ目）

0242	ウサギ科	ニホンノウサギ	Japanese Hare	<i>Lepus brachyurus</i>
0128	ウサギ科	ニホンノウサギ	Japanese Hare	<i>Lepus brachyurus</i>
0151	ウサギ科	ニホンノウサギ	Japanese Hare	<i>Lepus brachyurus</i>
0244	ウサギ科	アナウサギ	European Rabbit	<i>Oryctolagus cuniculus</i>
0169	ウサギ科	アナウサギ	European Rabbit	<i>Oryctolagus cuniculus</i>
0170	ウサギ科	アナウサギ	European Rabbit	<i>Oryctolagus cuniculus</i>

食虫目（モグラ目）

0256	トガリネズミ科	ジャコウネズミ	Asian House Shrew	<i>Suncus murinus</i>
0263	トガリネズミ科	ジャコウネズミ	Asian House Shrew	<i>Suncus murinus</i>
0264	トガリネズミ科	ジャコウネズミ	Asian House Shrew	<i>Suncus murinus</i>
0265	トガリネズミ科	ジャコウネズミ	Asian House Shrew	<i>Suncus murinus</i>
0257	トガリネズミ科	ジャコウネズミ	Asian House Shrew	<i>Suncus murinus</i>
0040	トガリネズミ科	ジャコウネズミ	Asian House Shrew	<i>Suncus murinus</i>
0053	トガリネズミ科	ジャコウネズミ	Asian House Shrew	<i>Suncus murinus</i>
0059	トガリネズミ科	ジャコウネズミ	Asian House Shrew	<i>Suncus murinus</i>
0096	モグラ科	コウベモグラ	Japanese Mole	<i>Mogera wogura</i>
0116	モグラ科	コウベモグラ	Japanese Mole	<i>Mogera wogura</i>
0097	モグラ科	コウベモグラ？	Japanese Mole ?	<i>Mogera wogura</i> ?
0064	モグラ科	ヒミズ	Japanese Shrew Mole	<i>Urotrichus talpoides</i>

翼手目（コウモリ目）

0068	ヒナコウモリ科	イエコウモリ	Japanese Pipistrelle	<i>Pipistrellus abramus</i>
0069	ヒナコウモリ科	イエコウモリ	Japanese Pipistrelle	<i>Pipistrellus abramus</i>
0098	ヒナコウモリ科	イエコウモリ	Japanese Pipistrelle	<i>Pipistrellus abramus</i>
0107	ヒナコウモリ科	イエコウモリ？	Japanese Pipistrelle ?	<i>Pipistrellus abramus</i> ?

標本番号 (NACM)	科名	種名	英名	学名
----------------	----	----	----	----

食肉目(ネコ目)

0071	ネコ科	イエネコ	Domestic Cat	<i>Felis catus</i>
0081	ネコ科	イエネコ	Domestic Cat	<i>Felis catus</i>
0101	ネコ科	イエネコ	Domestic Cat	<i>Felis catus</i>
0168	ネコ科	イエネコ	Domestic Cat	<i>Felis catus</i>
0167	ネコ科	イエネコ	Domestic Cat	<i>Felis catus</i>
0084	ネコ科	ライオン	Lion	<i>Panthera leo</i>
0011	ジャコウネコ科	ハクビシン	Masked Palm Civet	<i>Paguma larvata</i>
0088	イヌ科	コヨーテ?	Coyote?	<i>Canis latrans?</i>
0054	イヌ科	オオカミ	Wolf	<i>Canis lupus</i>
0254	イヌ科	オオカミ	Wolf	<i>Canis lupus</i>
0012	イヌ科	イヌ	Domestic Dog	<i>Canis lupus</i>
0018	イヌ科	イヌ	Domestic Dog	<i>Canis lupus</i>
0022	イヌ科	イヌ	Domestic Dog	<i>Canis lupus</i>
0020	イヌ科	イヌ	Domestic Dog	<i>Canis lupus</i>
0021	イヌ科	イヌ	Domestic Dog	<i>Canis lupus</i>
0163	イヌ科	タヌキ	Raccoon Dog	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
0164	イヌ科	タヌキ	Raccoon Dog	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
0161	イヌ科	タヌキ	Raccoon Dog	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
0162	イヌ科	タヌキ	Raccoon Dog	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
0166	イヌ科	タヌキ	Raccoon Dog	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
0007	イヌ科	タヌキ	Raccoon Dog	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
0008	イヌ科	タヌキ	Raccoon Dog	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
0159	イヌ科	タヌキ	Raccoon Dog	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
0035	イヌ科	タヌキ	Raccoon Dog	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
0019	イヌ科	タヌキ	Raccoon Dog	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
0023	イヌ科	タヌキ	Raccoon Dog	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
0173	イヌ科	キツネ	Red Fox	<i>Vulpes vulpes</i>
0005	イヌ科	キツネ	Red Fox	<i>Vulpes vulpes</i>
0143	イヌ科	キツネ	Red Fox	<i>Vulpes vulpes</i>
0006	イヌ科	キツネ	Red Fox	<i>Vulpes vulpes</i>
0120	クマ科	ヒグマ	Brown Bear	<i>Ursus arctos</i>
0188	クマ科	ヒグマ	Brown Bear	<i>Ursus arctos</i>
0189	クマ科	ヒグマ	Brown Bear	<i>Ursus arctos</i>
0217	クマ科	ヒグマ	Brown Bear	<i>Ursus arctos</i>
0218	クマ科	ヒグマ	Brown Bear	<i>Ursus arctos</i>
0190	クマ科	ヒグマ?	Brown Bear?	<i>Ursus arctos?</i>
0192	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0191	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0193	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0130	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0194	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0198	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0201	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0204	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0208	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0213	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0214	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0215	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>

性別	成長段階	保管部位	備考
不明	成獣	全身	
不明	成獣	全身	
不明	成獣	全身	交連骨格標本
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	レプリカ標本
メス	幼獣	全身	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
オス	成獣	全身	チヨウセンオオカミ
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	ニホンオオカミ <i>Canis lupus hodophilax</i> レプリカ標本
メス	成獣	全身	<i>Canis lupus familiaris</i>
不明	成獣	全身	<i>Canis lupus familiaris</i>
不明	成獣	頭蓋骨(破損)	<i>Canis lupus familiaris</i>
不明	成獣	下顎骨	<i>Canis lupus familiaris</i>
不明	成獣	下顎骨	<i>Canis lupus familiaris</i>
オス	成獣	全身	
オス	成獣	全身	
オス	成獣	頭蓋骨(破損)・全身	
オス	幼獣	頭蓋骨(破損)・全身	
オス	不明	下顎骨(破損)・末節骨	
メス	成獣	全身	
メス	成獣	全身	
不明	成獣	全身	
不明	成獣	頭蓋骨(破損)・全身	
不明	成獣	下顎骨	
不明	成獣	下顎骨	
オス	成獣	全身	
オス	成獣	全身	
メス	成獣	全身	
オス	成獣	全身	
不明	成獣	頭蓋骨(破損)・下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨(破損)・下顎骨	
オス	成獣	頭蓋骨(破損)・下顎骨	
メス	成獣	頭蓋骨(破損)・下顎骨(破損)	
メス	成獣	頭蓋骨(破損)・下顎骨(破損)	
不明	成獣	全身	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	

標本番号 (NACM)	科名	種名	英名	学名
0216	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0253	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0207	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0196	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0197	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0199	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0200	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0202	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0203	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0205	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0206	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0195	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0209	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0210	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0026	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0211	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0212	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0136	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0034	クマ科	ツキノワグマ	Asian Black Bear	<i>Ursus thibetanus</i>
0118	アシカ科	トド	Steller Sea Lion	<i>Eumetopias jubatus</i>
0119	アザラシ科	ゴマフアザラシ	Spotted Seal	<i>Phoca largha</i>
0075	アザラシ科	ゼニガタアザラシ	Harbor Seal	<i>Phoca vitulina</i>
0251	イタチ科	カワウソ	Japanese Otter	<i>Lutra nippon</i>
0252	イタチ科	カワウソ	Japanese Otter	<i>Lutra nippon</i>
0158	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0126	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0150	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0154	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0147	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0149	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0152	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0153	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0146	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0156	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0148	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0009	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0065	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0127	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0155	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0157	イタチ科	テン	Japanese Marten	<i>Martes melampus</i>
0090	イタチ科	アナグマ	Japanese Badger	<i>Meles anakuma</i>
0010	イタチ科	イタチ?	Japanese Weasel ?	<i>Mustela itatsi ?</i>
0142	イタチ科	イタチ?	Japanese Weasel ?	<i>Mustela itatsi ?</i>
0091	イタチ科	イタチ?	Japanese Weasel ?	<i>Mustela itatsi ?</i>
0137	イタチ科	イタチ?	Japanese Weasel ?	<i>Mustela itatsi ?</i>
0138	イタチ科	イタチ?	Japanese Weasel ?	<i>Mustela itatsi ?</i>
0139	イタチ科	イタチ?	Japanese Weasel ?	<i>Mustela itatsi ?</i>
0141	イタチ科	イタチ?	Japanese Weasel ?	<i>Mustela itatsi ?</i>
0062	イタチ科	イタチ?	Japanese Weasel ?	<i>Mustela itatsi ?</i>
0070	イタチ科	イタチ?	Japanese Weasel ?	<i>Mustela itatsi ?</i>
0140	イタチ科	イタチ?	Japanese Weasel ?	<i>Mustela itatsi ?</i>
0131	イタチ科	アメリカアナグマ?	American Badger ?	<i>Taxidea taxus ?</i>

性別	成長段階	保管部位	備考
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨(破損)	
不明	成獣	頭蓋骨(破損)・下顎骨(破損)	
不明	成獣	下顎骨	
不明	成獣	下顎骨	
不明	成獣	下顎骨	
不明	成獣	体部	
不明	幼獣	体部	
オス	成獣	全身	
オス	成獣	全身	
不明	成獣	全身	
不明	成獣	椎骨なし	レプリカ標本
不明	成獣	椎骨なし	レプリカ標本
オス	成獣	全身	
オス	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
オス	成獣	体部	
オス	成獣	体部	
メス	成獣	全身	
メス	成獣	頭蓋骨(破損)・全身	
不明	成獣	全身	
不明	成獣	全身	
不明	成獣	体部	
不明	成獣	体部	
オス	成獣	全身	
オス	成獣	全身	
オス	成獣	全身	
オス	成獣	体部	
不明	成獣	全身	
不明	成獣	全身	
不明	成獣	全身	
オス?	成獣	全身	交連骨格標本

標本番号 (NACM)	科名	種名	英名	学名
0121	アライグマ科	アライグマ	Raccoon	<i>Procyon lotor</i>
0122	アライグマ科	アライグマ	Raccoon	<i>Procyon lotor</i>
0124	アライグマ科	アライグマ	Raccoon	<i>Procyon lotor</i>
0123	アライグマ科	アライグマ	Raccoon	<i>Procyon lotor</i>
奇蹄目（ウマ目）				
0248	ウマ科	ウマ	Horse	<i>Equus caballus</i>
0270	ウマ科	ウマ	Horse	<i>Equus caballus</i>
0271	ウマ科	ウマ	Horse	<i>Equus caballus</i>
偶蹄目（ウシ目）				
0112	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0176	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0178	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0174	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0239	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0182	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0179	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0181	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0185	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0002	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0014	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0175	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0180	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0184	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0186	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0269	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0111	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0177	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0183	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0262	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0259	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0272	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0273	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0274	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0275	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0027	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0033	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0078	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0104	イノシシ科	イノシシ	Wild Boar	<i>Sus scrofa</i>
0004	イノシシ科	ブタ	Domestic Pig	<i>Sus scrofa</i>
0114	イノシシ科	ブタ	Domestic Pig	<i>Sus scrofa</i>
0246	イノシシ科	ブタ	Domestic Pig	<i>Sus scrofa</i>
0247	イノシシ科	ブタ	Domestic Pig	<i>Sus scrofa</i>
0085	カバ科	カバ	Common Hippopotamus	<i>Hippopotamus amphibius</i>
0080	シカ科	ノロジカ属	Roe Deer	<i>Capreolus</i>
0048	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0050	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>

性別	成長段階	保管部位	備考
オス	胎児	全身	No.124の胎児
オス	胎児	全身	No.124の胎児
メス	成獣	全身	胎児あり (No.121~123)
メス	胎児	全身	No.124の胎児
オス	成獣	全身	ポニー 12歳以上
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	サラブレッド
不明	成獣	中足骨・指骨	交連骨格標本
オス	成獣	全身	
オス	成獣	頭蓋骨・下顎骨 (破損)	
オス	幼獣	頭蓋骨 (破損)	
メス	成獣	頭蓋骨	正中で切断
メス	幼獣	頭蓋骨 (破損)・下顎骨	
メス	幼獣	頭蓋骨	
メス?	成獣	頭蓋骨	
メス?	成獣	下顎骨	
メス?	成獣	下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	下顎骨	
不明	幼獣	下顎骨	
不明	幼獣	全身体部	
不明	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	幼獣	頭蓋骨 (破損)	
不明	幼獣	下顎骨	
オス	成獣	全身体部	リュウキュウイノシシ <i>Sus scrofa riukiuanus</i>
不明	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	タイワンイノシシ <i>Sus scrofa taivanus</i>
メス?	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	シマブタ
不明	幼獣	指骨	
不明	幼獣	指骨	
オス	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	レプリカ標本
オス	成獣	全身体部	交連骨格標本
オス	成獣	全身体部	橈骨 (病変)・脛骨 (骨折治癒痕)
オス	成獣	全身体部	頭蓋骨・椎骨は正中で切断

標本番号 (NACM)	科名	種名	英名	学名
0115	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0261	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0260	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0049	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0231	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0243	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0220	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0250	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0222	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0047	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0015	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0045	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0051	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0223	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0221	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0219	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0052	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0187	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0041	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0056	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0106	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0232	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0160	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0058	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0113	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0117	シカ科	ニホンジカ	Sika Deer	<i>Cervus nippon</i>
0067	ウシ科	ウシ	Cattle	<i>Bos taurus</i>
0001	ウシ科	ウシ	Cattle	<i>Bos taurus</i>
0032	ウシ科	ウシ	Cattle	<i>Bos taurus</i>
0132	ウシ科	ウシ	Cattle	<i>Bos taurus</i>
0133	ウシ科	ウシ	Cattle	<i>Bos taurus</i>
0134	ウシ科	ウシ	Cattle	<i>Bos taurus</i>
0028	ヤギ科	ヤギ	Goat	<i>Capra hircus</i>
0108	ヤギ科	ヤギ	Goat	<i>Capra hircus</i>
0046	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0042	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0089	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0224	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0230	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0225	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0226	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0228	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0043	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0235	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0236	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0227	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0229	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0233	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0234	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0237	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0238	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>
0171	ウシ科	カモシカ	Japanese Serow	<i>Capricornis crispus</i>

性別	成長段階	保管部位	備考
オス	成獣	全身	
オス	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
オス	成獣	頭蓋骨(角切断)・下顎骨	
オス	成獣	四肢骨	
オス	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	
オス	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	
オス	幼獣	頭蓋骨(角切断)・下顎骨	
オス	不明	落角	
メス	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
メス	成獣	頭蓋骨・寛骨	
メス	成獣	体部	
メス	幼獣	全身	
メス	幼獣	全身	
メス	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	
メス	幼獣	頭蓋骨・下顎骨(破損)	
メス	幼獣	頭蓋骨(破損)・下顎骨	
メス?	幼獣	体部	
不明	成獣	下顎骨	
不明	成獣	椎骨・肩甲骨・上腕骨	
不明	幼獣	全身	
不明	幼獣	全身	
不明	幼獣	頭蓋骨(破損)	
不明	幼獣	体部	
不明	胎児	全身	
オス	成獣	全身	エゾシカ <i>Cervus nippon yesoensis</i>
オス	成獣	全身	エゾシカ <i>Cervus nippon yesoensis</i>
不明	成獣	全身	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	体部	
不明	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	幼獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	全身	
不明	成獣	全身	
メス	成獣	全身	胎児あり (No.171)
不明	成獣	全身	
不明	成獣	全身	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨(破損)・下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨(破損)・下顎骨	
不明	成獣	頭蓋骨(破損)・下顎骨	
不明	幼獣	全身	
不明	幼獣	頭蓋骨(破損)・下顎骨(破損)	
不明	幼獣	頭蓋骨(破損)・下顎骨(破損)	
不明	幼獣	頭蓋骨(破損)・下顎骨	
不明	胎児	全身	No.46の胎児

標本番号 (NACM)	科名	種名	英名	学名
0017	ヒツジ科	ヒツジ	Red Sheep	<i>Ovis aries</i>
鯨目（クジラ目）				
0240	マイルカ科	ハナゴンドウ	Risso's Dolphin	<i>Grampus griseus</i>
0241	マイルカ科	ハナゴンドウ	Risso's Dolphin	<i>Grampus griseus</i>
0077	マイルカ科	スジイルカ	Striped Dolphin	<i>Stenella coeruleoalba</i>
0086	科不明	イルカ類	Dolphin	
齧歯目（ネズミ目）				
0109	リス科	ニホンリス	Japanese Squirrel	<i>Sciurus lis</i>
0110	リス科	ニホンリス	Japanese Squirrel	<i>Sciurus lis</i>
0073	リス科	ニホンリス	Japanese Squirrel	<i>Sciurus lis</i>
0144	リス科	ニホンリス	Japanese Squirrel	<i>Sciurus lis</i>
0038	リス科	ムササビ	Japanese Giant Flying Squirrel	<i>Petaurista leucogenys</i>
0061	リス科	シマリス	Siberian Chipmunk	<i>Tamias sibiricus</i>
0087	ビーバー科	アメリカビーバー	American Beaver	<i>Castor canadensis</i>
0094	キヌゲネズミ科	ヒメキヌゲネズミ	Striped Desert Hamster	<i>Phodopus sungorus</i>
0095	キヌゲネズミ科	ヒメキヌゲネズミ	Striped Desert Hamster	<i>Phodopus sungorus</i>
0255	キヌゲネズミ科	キヌゲネズミ	Greater Long-tailed Hamster	<i>Tscherskia triton</i>
0092	ネズミ科	アカネズミ？	Large Japanese Field Mouse ?	<i>Apodemus speciosus</i> ?
0093	ネズミ科	アカネズミ？	Large Japanese Field Mouse ?	<i>Apodemus speciosus</i> ?
0258	ネズミ科	ドブネズミ	Brown Rat	<i>Rattus norvegicus</i>
0102	ネズミ科	ドブネズミ	Brown Rat	<i>Rattus norvegicus</i>
0103	ネズミ科	ドブネズミ	Brown Rat	<i>Rattus norvegicus</i>
0245	ネズミ科	ドブネズミ	Brown Rat	<i>Rattus norvegicus</i>
0249	ネズミ科	ドブネズミ	Brown Rat	<i>Rattus norvegicus</i>
0266	ネズミ科	ドブネズミ	Brown Rat	<i>Rattus norvegicus</i>
0076	ネズミ科	クマネズミ	Roof Rat	<i>Rattus rattus</i>
0039	ネズミ科	クマネズミ？	Roof Rat ?	<i>Rattus rattus</i> ?
0100	ネズミ科	クマネズミ属	Rat	<i>Rattus</i>
0129	テンジクネズミ科	モルモット	Domesticated Guinea Pig	<i>Cavia porcellus</i>

性別	成長段階	保管部位	備考
オス	成獣	全身	サウスダウン
不明	不明	全身	
不明	不明	頭蓋骨・下顎骨	
不明	不明	頭蓋骨・下顎骨・四肢骨一部	
不明	不明	頭蓋骨・下顎骨	レプリカ標本
オス	成獣	全身	
オス	成獣	全身	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
メス	成獣	全身	ジャンガリアンハムスター 約30ヶ月齢
メス	成獣	全身	ジャンガリアンハムスター 約41ヶ月齢
オス	成獣	全身	トリトンハムスター
不明	幼獣	全身	
不明	成獣	全身	
オス	成獣	全身	約10ヶ月齢
不明	成獣	全身	ラット (ウイスターS.T)
不明	成獣	全身	ラット (ウイスターS.T)
不明	成獣	全身	ラット (ウイスターS.T)
不明	成獣	全身	ラット (ウイスターS.T)
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	全身	
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	
不明	成獣	全身	交連骨格標本
不明	成獣	頭蓋骨・下顎骨	

本号の制作は、山崎健、松井章が当たり、表
は藤田美実（環境考古学研究室）、大和楨（京都大学大学院）、写真は丸山真史（京都大学大学院）、永井理恵（京都大学大学院）が補佐した。

哺乳類の現生骨格標本を収集、作製、保管するにあたって、多くの方々と機関からの多大なるご援助、ご協力を頂いた。以下に記して、謝意を表する。（50音順、敬称略）

相見満、石丸恵利子、江戸章訓、大和楨、岡資子、織田銑一、落合治彦、片山一道、菊地大樹、鬼頭清明、佐藤和彦、榎原安昭、櫻井秀雄、茂原信生、末崎真澄、鈴木健夫、高田勝、田邊由美子、塚本良雄、坪井清足、永井理恵、中原計、納屋内高史、西本豊弘、橋本裕子、花井正光、葉山杉夫、樋廻理恵子、平口哲夫、廣藤紀子、藤井裕之、藤田美美、藤田正勝、藤田征夫、真家和生、丸山真史、宮下実、矢澤高麗藏、山田格、屋山洋、松下まり子、宮路淳子、ルブナ・オマル、若村進

大阪市天王寺動物公園、大見屋、大妻女子大学、京都大学靈長類研究所、神戸大学、国立科学博物館、国立歴史民俗博物館、（財）自然環境研究センター（旧 日本野生生物研究センター）、太地町立くじらの博物館、獨協医科大学、長崎大学医学部、名古屋大学大学院生命農学研究科附属設楽フィールド、（株）日本スリービー・サイエンティフィック、（財）馬事文化財団 馬の博物館、（株）北海剥製標本社、北海道開拓記念館、若狭町教育委員会（旧 三方町教育委員会）、矢澤造型研究所、龍谷大学付属平安高等学校（旧 平安高等学校）、（株）ワールド・ギャラリー

参考文献

- 阿部永（監修）2008『日本の哺乳類 改訂2版』東海大学出版会、206頁。
- Don E. Wilson & DeeAnn M. Reeder (eds). 2005 *Mammal Species of the World. A Taxonomic and Geographic Reference (3rd ed)*. Johns Hopkins University Press, 2,142 pp.
- 松井章（編）2003『環境考古学マニュアル』同成社、401頁。
- 松井章 2008『動物考古学Fundamentals of Zooarchaeology in Japan』京都大学学術出版会、312頁。
- 日本学術会議 2005『自然史系博物館における標本の収集・継承体制の高度化』動物科学研究連絡委員会・植物科学研究連絡委員会報告、26頁。
- T.A. ジェファーソン・M.A. ウエバー・J.S. レザウッド、山田格翻訳 1999『海の哺乳類－FAO種同定ガイド』NTT出版、336頁。
- 樋泉岳二 1996「動物考古学における標本の管理と公開－その現状と問題点」『植生史研究』4-2、81-87頁。